

## 平成 28 年度 沼津市幼保小連携協議会報告

○日 時：平成 29 年 1 月 27 日（金）14：30～

○場 所：市役所 7 階 703 会議室

○出席者：杉本 雅弘（第二小学校 校長）  
渡邊 治子（第五小学校 教諭）  
市川みゆき（金岡小学校 教諭）  
渡邊 義昭（大平幼稚園 園長）  
眞野 裕輝（原町幼稚園 教諭）  
藤池 恵弓（ときわ保育所 副所長）  
原 里美（しんあい保育園 主任保育士）  
濱野 京子（認定こども園片浜桜 主幹保育教諭）

事務局：教育企画課、子育て支援課、学校教育課

### ○協議会の主な内容

- ①これまでの幼保小連携協議会について → 事務局が説明
- ②連携の現状について → 国の方向性、市・県の連携の様子を事務局が説明
- ③今後の連携についての意見
  - ・ 現在も連携、交流を実施しているが、園児が楽しみながら小学校のことを知るような連携、交流が大切であると思う。
  - ・ 園児に、椅子と机を使用する小学校の授業を体験させたい。
  - ・ 園児の保護者に、広報ぬまづに掲載される学校公開日の情報を各園で P R し、進学予定の小学校の様子を知ってもらう機会にしてもらえるとよい。
  - ・ 卒園した子どもたちの多くが行く小学校との交流はあるが、そうではない小学校との交流は少ないので、今後は交流、連携をしていきたい。
  - ・ 特別な支援を必要としている子どもについては、幼保と小学校の間でこれまで以上に丁寧な情報交換をする必要がある。
  - ・ 卒園した子どもたちの様子を幼保の教員が参観し、その後、幼保小の教員で研修会を行う学校もある。まずは、各小学校が授業参観を企画し、幼保へ案内を出すことから始めてみてはどうか。
  - ・ 小学校の入学説明会の案内を各幼保に送付し、可能な範囲で幼保の教員に参加してもらえれば、幼保での日頃の指導に生かせるのではないか。
  - ・ 小学校の教員が幼稚園へ行く研修を幼稚園側で企画したい。
- ④認定こども園について→濱野主幹保育教諭からの説明